

活動報告

団体名	四日市東日本大震災支援の会
活動名	熊本県西原村の避難所・学校再開・仮設住宅を見守る多面的支援活動
活動期間	2016/05/03 ~ 2016/09/04
活動の成果	<p>5月・7月は、看護師・保健師が同行することで、避難所における健康相談や足浴などの専門的な健康増進の活動をしました。メンバーには、東北などでの支援活動の経験者が多く、傾聴活動や見守り活動を通して被災者の皆さんの心のケアになったと思います。被災地支援に慣れた団体で行動したため、災害ボラセンとの情報共有がスムーズにいき、避難所での足浴と健康チェック、小学校の清掃、戸別見守り訪問など、幅広い活動ができました。</p> <p>9月は、西原村社協と連携し、仮設住宅に設置された完成したばかりの集会所で、ボランティアによる初めてのサロン活動を実施しました。50世帯を対象にしたのですが、高齢者中心に40名ほどが来場し、仮設住宅コミュニティ形成のきっかけになったと思います。また、子どもたちが10名ほど来場したため、急きょ遊びを工夫し、交流をもちました。</p> <p>また、5月には避難所で使用するマットレスの物資支援をしました。さらには、毎回、炊出し支援をしている現地の団体（たんぽぽハウス）に食材を届け、炊出しを手伝うなど、多面的な支援もできました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆さんに支えられて支援活動ができ、熊本県西原村の皆さんの生活再建までの長い道のりに寄り添う形で役立っていると確信をしております。支援をいただいている皆さんに深く感謝しています。参加した高校生・大学生は、常に多くの方の支えがあって活動ができているという認識に立ち、ミッションを成功に導くよう、精いっぱい頑張っております。今後も全ての仮設住宅の住人が安心して暮らせるよう、そして生活再建に少しずつでも進めるよう、西原村に寄り添い続けていきたいと考えております。</p>

(活動のようす)



